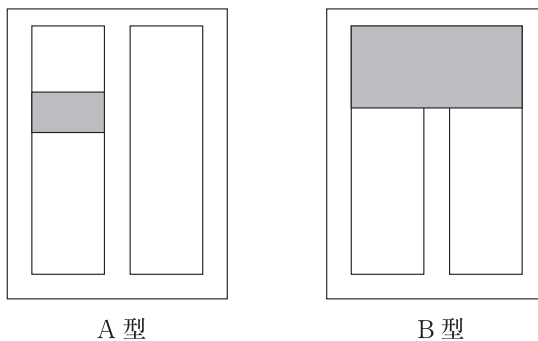


## 「家族心理学研究」図表作成の手引き (Ver2.2)

### 日本家族心理学会

#### 図表の種類

図表は、次の図のように幅が1段以内で収まるものをA型、2段にわたるものをB型と称することとします。図については1ページ以内に収めること、表については見開きで2ページ以内に収めることが原則です。これを超える場合には、あらかじめ編集委員会にご相談ください。



#### 図表の挿入位置と大きさの指定

図表を挿入する本文中の位置に、次の書式にしたがって図表の大きさを指定してください。大きさは印刷時の大きさです。図表相当分の行を原稿中に空ける必要はありませんが、原稿総ページ数に相当行数を含めるよう考慮してください。

(書式) 図 (または表) 番号 (型 H = 縦の長さ W = 横の長さ)

(例) 図3 (A型 H = 30mm W = 60mm)

図表の縦は、210mm以下としてください。

図表が占める行数Lは、おおむね、

$$L = \text{縦の長さ (mm)} \div 5$$

として、原稿総ページ数を計算するうえで参考にしてください。

図表の横は、以下に従ってください。

A型の場合、70mm以下

B型の場合、70mm超 145mm以下

#### 図表の作成

図表は標題を含んだ大きさとしてください。上記の値は印刷時の大きさです。図表はそのまま版下として使用しますので、縦、横それぞれが印刷時の1.5倍～2倍程度となるように作図、作表すること、上下左右に若干の余裕をもたせることを推奨します。